

1. 沿革

- (1) 昭和 23 年 6 月 25 日 奈良県告示第 167 号を以て、奈良市登大路町奈良県庁内に奈良県衛生研究所を設置
- (2) 昭和 28 年 3 月 31 日 奈良県条例第 11 号を以て、奈良市油阪町に庁舎を新築移転
- (3) 昭和 41 年 3 月 30 日 奈良市西木辻八軒町に奈良保健所との合同庁舎を新築移転
- (4) 昭和 46 年 3 月 24 日 奈良市大森町に独立庁舎を新築移転
- (5) 昭和 46 年 5 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、総務課、環境公害課、予防衛生課の 3 課を設置
- (6) 昭和 48 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、食品化学課を新設
- (7) 昭和 50 年 2 月 28 日 前庁舎に接して約 1,276 m²の庁舎を新築
- (8) 昭和 62 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、総務課、公害課、環境課、食品化学課、予防衛生課の 5 課制に編成替え
- (9) 平成 2 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、総務課、大気課、水質課、食品生活課、予防衛生課に編成替え
- (10) 平成 12 年 4 月 1 日 県感染症情報センターを所内に設置
- (11) 平成 14 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、奈良県保健環境研究センターと名称変更し総務課と試験研究グループ（大気環境担当、水環境担当、食品担当、ウイルス・細菌担当）に編成替え
- (12) 平成 18 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、総務課、精度管理担当、大気環境担当、水環境担当、食品担当、ウイルス・細菌担当に編成替え
- (13) 平成 22 年 4 月 1 日 技術担当を置く
- (14) 平成 23 年 4 月 1 日 技術担当を解く
- (15) 平成 25 年 4 月 1 日 桜井市粟殿に新築移転、奈良県行政組織規則の改正により名称を奈良県保健研究センターに改め、総務課、精度管理担当、食品担当、細菌担当、ウイルス・疫学情報担当に編成替え
大気環境担当及び水環境担当は奈良県景観・環境総合センター大気係、水質係に編成替え

2. 組織

1) 機構と事務分掌（令和 5 年 4 月 1 日現在）

所 長 一 副 所 長	総 務 課	1. 人事・予算・決算及び会計経理に関すること 2. 土地建物及び物品の維持管理に関すること 3. その他庶務に関すること
	精度管理担当	1. 企画情報に関すること 2. 総合調整に関すること 3. 信頼性確保部門の指定職員業務その他精度管理に関すること
	食 品 担 当	1. 食品、食品添加物、食器、容器包装、家庭用品等の理化学的試験研究に関すること 2. 食品中の残留農薬、重金属等有害化学物質の試験研究に関すること 3. 飲料水等の理化学的検査に関すること 4. その他食品衛生の理化学的試験研究に関すること
	細 菌 担 当	1. 食品衛生、環境衛生等の細菌学的検査及び調査研究に関すること 2. 病原細菌の検査及び調査研究に関すること 3. 細菌学的検査の研修・技術指導に関すること
	ウ イ ル ス ・ 疫学情報担当	1. ウイルス等の病原体の検査及び調査研究に関すること 2. 感染症情報センターに関すること 3. その他ウイルス性感染症等の研修・技術指導に関すること

2) 職 員 構 成 (令和 5 年 4 月 1 日現在)

区 分	事務職員	技 術 職 員				計
		薬 学	獣医学	理工農学	臨床検査学	
所 長		1				1
副所長(兼)精度管理担当		1				1
総 務 課	2					2
精 度 管 理 担 当	1	1				2
食 品 担 当		3		5	1	9
細 菌 担 当		4		2	1	7
ウイルス・疫学情報担当		5		2	1	8
計	3	15		9	3	30

3) 人 事 記 録

退職及び転出

5 . 3 . 3 1	所 長	堀 重 俊	退職
	統括主任研究員	内 田 美 枝	食品衛生検査所へ
	統括主任研究員	上 眞佐美	中和保健所へ
	主任研究員	松 井 恵梨子	疾病対策課へ
	主任研究員	井 上 健太郎	水資源政策課へ
	主任研究員	千 葉 翔 子	産業振興総合センターへ

転入及び昇格

5 . 4 . 1	所 長	東 條 幸 一	中和保健所から
	統括主任研究員	田 邊 純 子	総括研究員から
	統括主任研究員	桐 山 秀 樹	水資源政策課から
	総 括 研 究 員	佐 伯 美由紀	食品衛生検査所から
	指 導 研 究 員	森 村 実 加	主任研究員から
	主 任 技 師	山 本 紗 也	技師から
	主 任 主 事	井ノ上 美 紅	主事から
	主 事	吉 川 采也加	新規採用
	技 師	足 立 有 彩	新規採用

4) 職 員 名 簿

(令和5年4月1日現在)

課・係名	職 名	氏 名	課・係名	職 名	氏 名		
総務課 総務係	所 長	東 條 幸 一	細菌担当 細菌チーム	統括主任研究員	田 邊 純 子		
	副 所 長	榮 井 毅		総 括 研 究 員	佐 伯 美由紀		
	課 長	水 野 博 夫		指 導 研 究 員	森 村 実 加		
	(兼)係長	水 野 博 夫		主 任 技 師	築 山 結 衣		
	主 査	大 野 晴 儀		主 任 主 事	田 中 慶 哉		
	精度管理担当	(兼)統括主任研究員		榮 井 毅	主 任 主 事	井ノ上 美 紅	
		総 括 研 究 員		德 田 恵	技 師	足 立 有 彩	
		主 査		本 間 美 樹	ウ イ ル ス ・ 疫 学 情 報 担 当 ウ イ ル ス ・ 疫 学 情 報 チーム	統括主任研究員	山 崎 聖 子
	食 品 担 当 食品化学チーム	統括主任研究員		桐 山 秀 樹		総 括 研 究 員	井 上 ゆみ子
		総 括 研 究 員		安 藤 尚 子		主 任 研 究 員	美 並 衣 織
指 導 研 究 員		西 山 隆 之	主 任 研 究 員	脇 坂 美 世			
生活化学チーム	主任研究員	長 尾 舞	主 任 技 師	松 浦 侑 輝			
	主任技師	中 田 千恵子	主 任 技 師	中 野 守			
	総 括 研 究 員	荒 堀 康 史	主 任 技 師	山 本 紗 也			
	主任研究員	中 永 絵 理	主 事	吉 川 采也加			
	主任研究員	竹 田 依 加					
	主任研究員	上 床 知佐奈					

3. 施 設

1) 土 地

(令和5年4月1日現在)

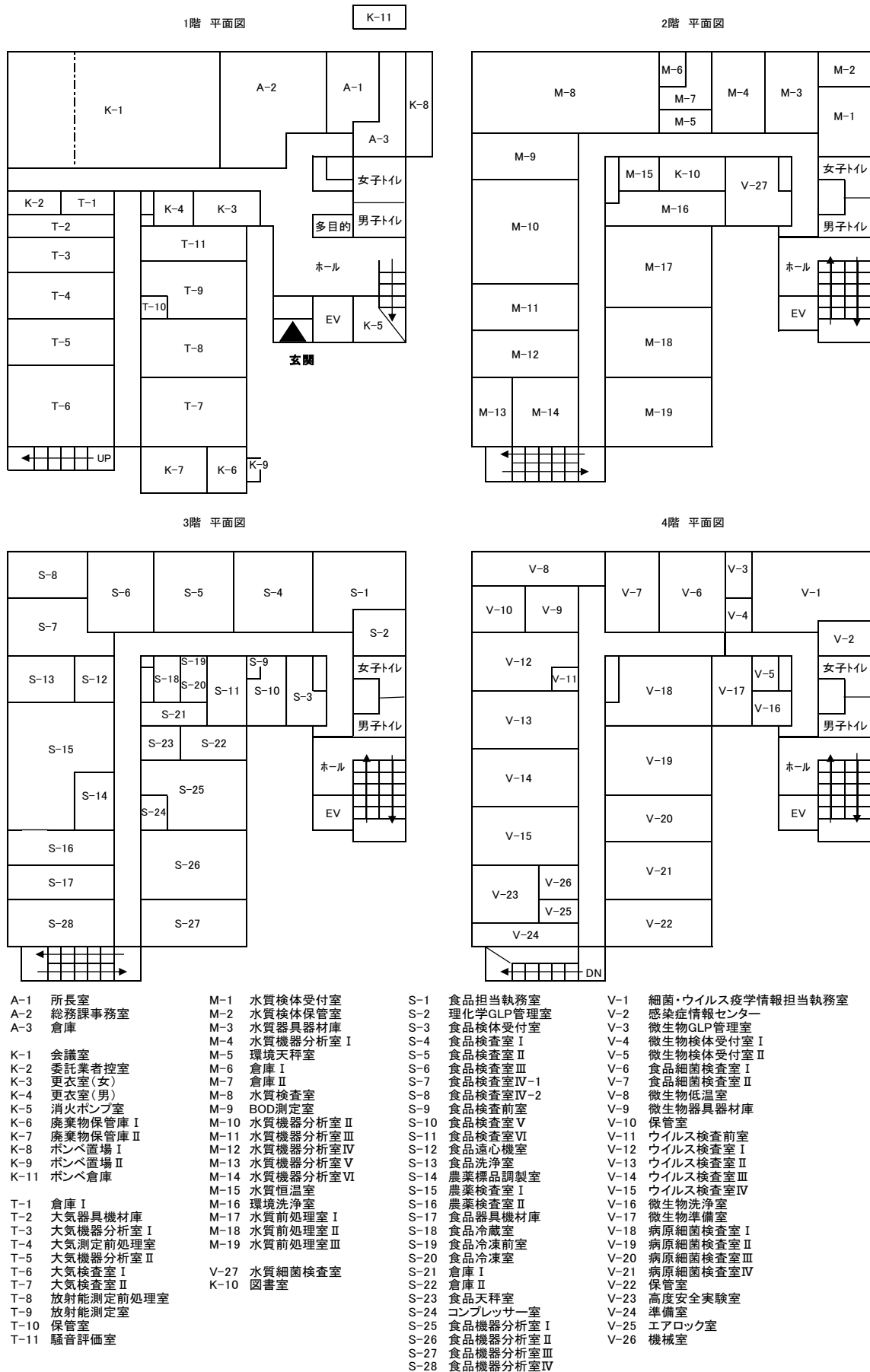
地 名	地 目	面 積	現在の状況	所 有 者
桜井市粟殿 1000 番地	宅 地	3,709.88 m ²	宅 地	奈 良 県

2) 建 物

(令和5年4月1日現在)

施 設	面 積	使用年月日	建物経過年数	所 有 者
本館鉄筋コンクリート 4階	3,264.17 m ²	平成25年 4月1日	10年	奈 良 県
(本館 1階)	(860.13)			
(本館 2階)	(786.77)			
(本館 3階)	(786.77)			
(本館 4階)	(786.77)			
(本館 P1階)	(43.73)			
倉 庫	7.00	平成25年 4月1日	10年	

3) 保健研究センター庁舎配置図



4. 新規購入備品 (単価 20 万円以上)

品名	規格	購入年月日
安全キャビネット	ESCO AC2-4N7	令和4年11月24日
バイオメディカルクーラー	日本フリーザー UKS-3610DHC	令和5年2月21日

5. 予算及び決算 (令和4年度)

歳入 (単位 円)

款	項	目	節	説明	予算額	収入
使用料及び 手数料	手数料	保健研究 センター 手数料	保健研究 センター 手数料	1. 食品検査	691,560	143,980
				(1) 一般食品検査	492,200	85,080
				(2) 食品細菌検査	199,360	58,900
				2. 水質検査	3,387,320	0
				(1) 飲料水検査	2,589,760	0
				(2) プール水検査	797,560	0
				3. 細菌検査	1,149,850	285,180
				(1) 結核菌等検査	332,410	177,180
				(2) 培養・同定	817,440	108,000
				4. ウイルス等検査	1,308,960	409,770
5. 臨床病理検査						
6. 衛生害虫検査						
7. その他の試験	961,730	600,030				
8. 証明書発行	2,500	0				
計					7,501,920	1,438,960

歳 出

(単位 円)

款・項・目	予 算 額	支 出 額	残 高
(款) 福祉保険費	48,943,371	39,748,985	9,194,386
(項) 地域福祉費	48,943,371	39,748,985	9,194,386
(目) 保健研究センター費	28,379,627	26,412,046	1,967,581
(目) 地域福祉推進費	20,563,744	13,336,939	7,226,805
(款) 医療政策費	3,968,000	3,765,632	202,368
(項) 疾病対策費	3,968,000	3,765,632	202,368
(目) 疾病対策推進費	3,968,000	3,765,632	202,368
(款) 文化・教育・くらし創造費	10,872,000	10,453,244	418,756
(項) 消費・生活安全費	10,872,000	10,453,244	418,756
(目) 消費・生活安全対策費	10,393,000	9,984,538	405,462
(目) 生活衛生指導費	362,000	358,910	3,090
(目) 動物愛護費	117,000	109,796	7,204
(款) 産業・観光振興費	574,000	573,945	55
(項) 産業政策費	494,000	494,000	0
(目) 産業政策推進費	494,000	494,000	0
(項) 観光費	80,000	79,945	55
(目) 観光振興対策費	80,000	79,945	55
合 計	64,357,371	54,541,806	9,815,565

*保健研究センター執行分のみ計上 (人件費・大型備品・営繕費を含まず)

6. 企画情報関連

1) 職員の出席した学会、研究会、講習会、研修会等

年・月・日	内 容	開 催 地	担 当
R4.5.18~19	島津 Prominence メンテナンス講習会	大 阪 市	食 品
6.3	新型コロナウイルス変異株の流行監視への下水道疫学調査の活用に関する WEB セミナー	オンライン	ウイルス・疫学情報
6.13~14	AMED「病原体ゲノミクス・サーベイランスを基盤とした公衆衛生対策への利活用に係る研究」班会議	オンライン	ウイルス・疫学情報
6.19	関西菌類談話会 菌類観察会	橿 原 市	食 品
6.23	インフルエンザ・リファレンス等会議	オンライン	ウイルス・疫学情報
6.30~7.1	衛生微生物技術協議会 第 42 回研究会	オンライン	細 菌 ウイルス・疫学情報
7.6	令和 4 年度感染症流行予測調査事業担当者会議	オンライン	ウイルス・疫学情報
7.8	NPO 法人入浴施設衛生管理推進協議会 第 39 回レジオネラ対策シンポジウム	オンライン	細 菌
7.22	第 13 回 FDSC 食品衛生精度管理セミナー	東 京	細 菌
7.29	【緊急企画】サル痘について（厚生労働省）	オンライン	ウイルス・疫学情報
9.2	分析技術勉強会（地方衛生研究所全国協議会近畿支部）	大 阪 市	食 品
9.8~9.9	令和 4 年度検査機関に対する検査能力・精度管理等の向上を目的とした講習	オンライン	ウイルス・疫学情報
9.11	第 4 回 SFTS 研究会・学術集会	オンライン	ウイルス・疫学情報
9.21	第 9 回バイオセーフティ学会シンポジウム	オンライン	細 菌
10.5~6	令和 4 年度薬剤耐性菌の検査に関する研修	オンライン	細 菌
10.13	令和 4 年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部ウイルス部会研究会	オンライン	ウイルス・疫学情報
10.15	関西菌類談話会 菌類観察会	奈 良 市	食 品
10.22	漢方シンポジウム 2022 ～漢方に関する県立研究機関の研究発表会～	奈 良 市	食 品
10.24~11.7	令和 4 年度「地域保健総合推進事業」全国疫学情報ネットワーク構築会議	オンライン	ウイルス・疫学情報
10.31~11.1	第 59 回全国衛生化学技術協議会年会	川 崎 市	食 品
11.4	令和 4 年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部自然毒部会研究発表会	オンライン	食 品
11.10	（公社）日本食品衛生学会第118回学術講演会 公開シンポジウム フグ食文化の高度化と国際化	オンライン	食 品
11.11	令和4年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部細菌部会研究会	オンライン	細 菌
11.14	福岡県”One Health”国際フォーラム2022	オンライン	細 菌
11.15	地域農産物の機能性表示に関する研修会 ～機能性表示制度を活用した農産物のブランド化～	桜 井 市	食 品
11.15~16	第 9 回日経・FT 感染症会議	オンライン	細 菌
11.17	令和 4 年度アニサキスを中心とした寄生虫性食中毒に関する技術講習会	オンライン	ウイルス・疫学情報

11.18	令和4年度動物由来感染症レファレンスセンターWebミーティング	オンライン	ウイルス・疫学情報
11.18	令和4年度奈良県感染症発生動向調査事業感染症関連講演会兼第2回院内感染対策カンファレンス	オンライン	ウイルス・疫学情報
11.25	令和4年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部理化学部会研修会	オンライン	食 品
11.28	NPO 法人入浴施設衛生管理推進協議会 第40回レジオネラ対策シンポジウム	オンライン	細 菌
11.30~12.2	令和4年度風疹実験室検査法の実地研修会	武蔵村山市	ウイルス・疫学情報
12.7	令和4年度地域保健推進事業シンポジウム 新型コロナウイルス感染症～これまでの評価と今後の展望～	オンライン	ウイルス・疫学情報
12.8	第1回地衛研 Web セミナー (微生物分野における次世代シーケンサーの活用)	オンライン	細 菌 ウイルス・疫学情報
12.9	第26回近畿耐性菌研究会 特別講演会 Web セミナー	オンライン	細 菌
12.16	令和4年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部第37回疫学情報部会研究会	神戸市 オンライン	細 菌 ウイルス・疫学情報
12.21	一般社団法人日本下水サーベイランス協会設立記念講演会	オンライン	ウイルス・疫学情報
12.26	アデノウイルスレファレンスセンター会議	オンライン	ウイルス・疫学情報
R5.1.7	大阪大学シンポジウム・感染症総合教育研究拠点 (CiDER) シンポジウム「私たちのくらしとワクチン」	大 阪 市	細 菌
1.13	2022年度日本学術会議・日本薬学会主催シンポジウム「新興・再興感染症の克服に挑む」	オンライン	細 菌
1.26~27	第36回公衆衛生情報研究協議会研究会	オンライン	細 菌 ウイルス・疫学情報
1.26~2.15	令和4年度地方感染症情報センター担当者会議	オンライン	ウイルス・疫学情報
2.2	令和4年度衛生理化学分野研修会	オンライン	食 品
2.3~5	第34回日本臨床微生物学会総会・学術集会	横 浜 市	細 菌
2.6,8,9	感染症サーベイランスシステム 2次リリース研修会	オンライン	細 菌 ウイルス・疫学情報
2.8	実験動物管理者等研修会	オンライン	ウイルス・疫学情報
2.15	奈良県公設試験研究機関 研究発表・情報交換会	桜 井 市	食 品
2.15~16	令和4年度希少感染症診断技術研修会	オンライン	細 菌 ウイルス・疫学情報
2.16	COVID-19 定点の考え方及び選定方法等に関する説明会	オンライン	ウイルス・疫学情報
2.18	トラベラーズワクチンフォーラム	オンライン	ウイルス・疫学情報
2.20	感染者数推計ツール研修	オンライン	ウイルス・疫学情報
2.28	GISAID 登録研修	オンライン	ウイルス・疫学情報
3.20	FETP 大阪拠点キックオフミーティング	オンライン	細 菌
3.25	第61回獣疫学会学術集会	オンライン	細 菌

上記の他、企業等の主催する WEB セミナーについて、食品担当 8 回、細菌担当 5 回、ウイルス・疫学情報担当 2 回参加。

2) 施設見学

年・月・日	見学者	人数	担当
R5.1.31	滋賀県衛生科学センター	2名	総務課

3) 当センター職員を講師とする講演会、技術・研修指導

(1) 講演会

年・月・日	会等の名称	内容	発表者
R4.7.11	なら県政出前トーク	自然毒中毒について	食品 担当：安藤，中田
9.14	なら県政出前トーク	自然毒中毒について	食品 担当：安藤，中田
R5.3.9	なら県政出前トーク	自然毒中毒について	食品 担当：安藤，長尾

(2) 研修指導

年・月・日	内容	対象者	人数	担当
R4.9.6~9	令和4年度奈良県立医科大学 公衆衛生学実習	奈良県立医科大学医学部 4年生	5名	副所長

4) 奈良県保健研究センター研究発表会

(1) 令和4年6月24日

発表者	発表演題
竹田 依加	クワズイモ中のシュウ酸カルシウム同定法の検討
田中 慶哉	ジビエ収去検体に付着していた異物について
井上 健太郎	奈良県における CRE（カルバペネム耐性腸内細菌科細菌）のカルバペネマーゼ遺伝子検出状況（2017年度～2021年度）
松浦 侑輝	当センターにおける新型コロナウイルス全ゲノム解析結果（2021年6月から2022年3月）

(2) 令和5年2月24日（オンライン開催）

発表者	発表演題
安藤 尚子	イヌサフランとグロリオサ中におけるコルヒチン等の HPLC 分析法について
井上 ゆみ子	奈良県で分離された非定型な腸管出血性大腸菌 O157 株について
森村 実加	当センターにおける細菌検査体制の維持・強化を目的とした人材育成の取り組みについて

5) 保健研究センターホームページによる情報提供

平成13年2月1日より奈良県保健環境研究センター（当時）のホームページを公開し、情報提供を行っている。平成25年4月1日より大気、水質に関する環境部門が分離され、保健研究センターホームページとなったが、引き続き当センター研究発表会の概要を掲載する等情報提供を行った。

ホームページのアドレス（令和5年4月1日現在）

奈良県保健研究センター：<http://www.pref.nara.jp/4827.htm>

6) 奈良県公衆衛生学会への協力

奈良県公衆衛生協議会が主催する「奈良県公衆衛生学会」は、新型コロナウイルス感染症をめぐる状況を踏まえ、開催中止となった。

7) 信頼性確保業務

(1) 食品関係試験検査事業

「奈良県食品関係試験検査業務管理要綱」に基づく食品関係試験検査業務の信頼性確保のため、「内部点検」、「精度管理」、「外部精度管理」を実施している。

① 内部点検

理化学検査4項目、細菌検査2項目について実施した。

② 精度管理

理化学検査（延べ）35項目、細菌検査1項目について実施した。

③ 外部精度管理

一般財団法人食品薬品安全センターの外部精度管理調査に毎年参加している。

理化学調査	クロルピリホス フェントエート
	着色料（酸性タール色素中の許可色素）
	栄養成分検査
	遺伝子組み換え食品検査
微生物学調査	一般細菌数測定検査
	大腸菌群検査

(2) 感染症関係試験検査事業

「奈良県保健研究センター病原体等検査業務管理要領」に基づく病原体等検査業務の信頼性確保のため、「内部監査」、「信頼性確保試験」、「外部精度管理」を実施している。

① 内部監査

細菌に関する検査 1 項目、ウイルスに関する検査 1 項目を実施した。

② 信頼性確保試験

細菌に関する検査 4 項目、ウイルスに関する検査 1 項目について実施した。

③ 外部精度管理

i) 厚生労働省精度管理事業に参加した。

課題 1	新型コロナウイルスの遺伝子解読・解析
課題 2	新型コロナウイルスの核酸検出検査
課題 3	コレラ菌の同定検査

ii) 厚生労働科学研究各研究班等が実施した精度管理研究に参加した。

厚生労働科学研究	レジオネラ属菌検査
厚生労働科学研究	結核菌遺伝子型別
厚生労働科学研究	腸管出血性大腸菌の反復配列多型解析法

8) 健康危機事象模擬訓練

「健康危機発生時における近畿2府7県地方衛生研究所の協力に関する協定書」に基づき、神戸市健康科学研究所の企画により実施された健康危機管理事業（令和4年度は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、理化学部門を対象とした精度管理事業を実施）に参加した。

令和4年10月25日（火）に送付された検体について、所内で必要な検査を実施し報告を行った。令和4年12月16日（金）に集合形式及びオンラインにより開催された疫学情報部会研究会における精度管理事業検証会に参加した。

9) 外部評価制度

(1) 外部評価制度の導入

調査研究業務に客観的かつ公正な評価を加え、調査研究の充実とその成果の普及を図ることを目的に、平成19年度から外部評価制度を導入している。

外部評価委員 (令和4年4月1日現在)

	氏名	所属
委員長	多賀 淳	近畿大学
委員	須崎 康恵	奈良県立医科大学
委員	山田 誠	龍谷大学
委員	上田 佳代	北海道大学
委員	川崎 清史	同志社女子大学

(2) 令和4年度評価対象となった調査研究

担当	主任研究者	課題名	共同研究者
食品	中田千恵子	健康危機管理体制の強化 —植物性自然毒の遺伝子検査法による鑑別の拡充—	安藤 尚子 西山 隆之 長尾 舞
細菌	井ノ上美紅	下水処理場流入水におけるVRE実態調査及び臨床分離株との比較解析	築山 結衣 井上健太郎 井上ゆみ子

(3) 外部委員による総合評価（同時に評価を受けた奈良県景観・環境総合センター分を含む）

- ・いろいろな切り口によりディスカッションすることが大事だと感じた。
- ・計画がよく練られ、それに沿ったデータと結果を見せてもらった。
- ・たくさんの量のデータを出しており、研究者目線で見ても価値が高い。今後も調べ尽くすような研究を続け

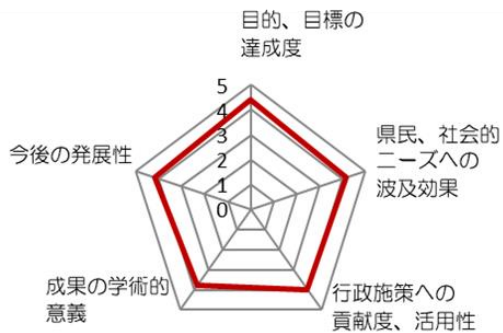
てほしい。

- ・今後の展開として、他地域との比較など、連携した研究があると面白くなると思った。
- ・研究の成果を発表し、発展させていくことが重要なのではと感じた。

(4) 外部委員による個別評価

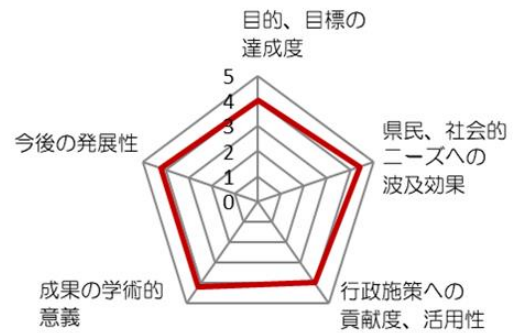
外部委員による評価は、①目的・目標の達成度、②県民・社会的ニーズへの波及効果、③行政施策への貢献度、活用性、④成果の学術的意義、⑤今後の発展性の観点から行われる。

それぞれについて、5段階評価で行い各委員の平均で表した。



健康危機管理体制の強化

—植物性自然毒の遺伝子検査法による鑑別の拡充—



下水処理場流入水における VRE 実態調査及び
臨床分離株との比較解析